



岩手山での空からの地質調査の実施

～土砂災害の防止に役立てます～

国土交通省岩手河川国道事務所では、岩手山での土砂災害防止に役立てるため、ヘリコプターに測定器を装着し上空から地質調査を行います。

この調査は岩手山山体の地質を把握することにより、大規模土砂災害対応等に関する検討の基礎資料とするものです。

冬の到来を間近にして本格的な登山シーズンは終了していますが、測定器を吊り下げたヘリコプターが上空を通過いたしますのでご理解願います。

○ 岩手山を対象にして、平成10年10月に、「岩手山火山災害対策検討委員会」による『岩手山火山防災マップ』が公表され、これに基づき各関係機関で火山防災対策の検討が進められています。

○ 岩手河川国道事務所でも火山防災対策を検討する上での基礎調査の一環として、『岩手山火山防災マップ』に示されている想定火口周辺において、空中物理探査という調査方法を用いて地質調査を行い、土砂災害防止に役立てることにしております。

(添付資料)「ヘリコプターによる地質調査のお知らせ」

※飛行場外離着陸場の使用ならびに低空飛行に関しては関係諸官庁にて承認手続き中です。

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会》

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
TEL 019-624-3166 (調査第一課直通)

ケンセツ カントクカン
建設監督官

チョウサ ダイイチ カチョウ
調査第一課長

オハラ アキヒコ
小原 昭彦(内線501)

フクダ オサム
福田 修(内線351)

ヘリコプターによる地質調査のお知らせ

国土交通省岩手河川国道事務所は、岩手山山頂付近において、ヘリコプターに測定器を装着し上空から地質調査を行います。冬の到来を間近にして本格的な登山シーズンは終了していますが、測定器を吊り下げたヘリコプターが上空を通過いたしますのでご理解願います。

1. 概要：ヘリコプターを用いた地質調査

微量の電磁波（※1）を出す棒状の測定器（地質調査実施中と明示）を吊り下げた白い小型ヘリコプターが、約60mの上空を時速30km程度で飛行（※2）します。

2. 範囲：岩手山山頂付近（岩手県八幡平市、雫石町、滝沢村の一部）（裏面参照）

3. 予定日：平成25年11月19日（火）から概ね1か月の内、実質3日程度を予定しています。

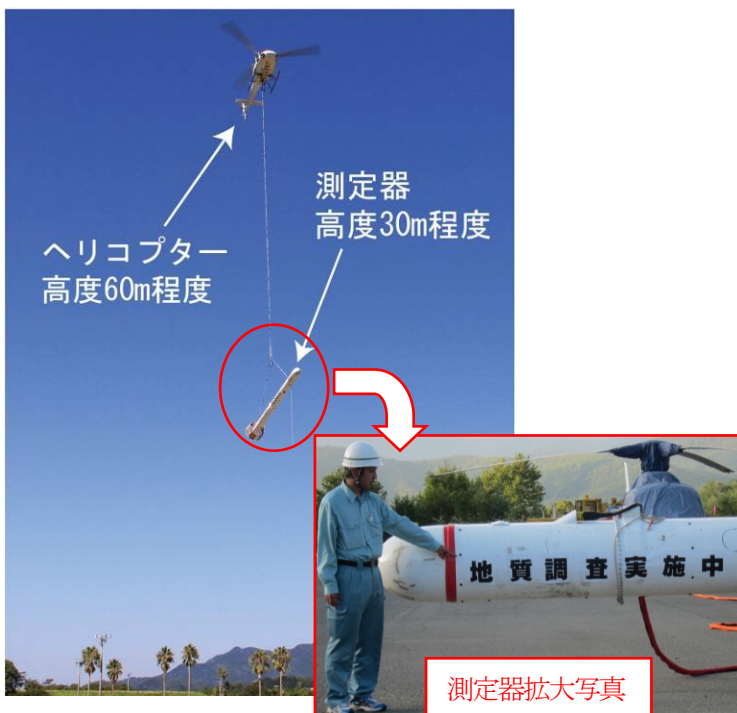
※7時～17時の間に、1日数回、岩手山の山麓から山頂を飛行します。

※荒天時は、飛行しない場合があります。

4. お問い合わせ先

発注者：国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

電話：019-624-3166（担当：福田、小原）



ヘリコプターによる調査飛行状況（イメージ）

※1 測定器の電磁波

使用する電磁波は通常のテレビから出ている100分の1の強さで、世界保健機構（WHO）が示した基準値の10万分の1です。人や家畜などの生物、ペースメーカー・テレビ等の電気機器には影響ありません。

※2 ヘリコプターの飛行音

測定器から音は出ませんが、ヘリコプターから飛行音がします。

※ご注意：裏面に飛行範囲がございます

飛行範囲図

